

学校体育館の空調整備を進めます ～こどもたちの暑さ対策と災害時の避難所機能の確保～

見附市では、近年の猛暑でも安全・安心な教育環境を確保し、原子力災害時の屋内退避や自然災害に対する避難所機能を確保するため、国・県の支援を最大限活用して学校体育館の空調整備を進めています。令和8年度は、名木野小学校体育館において既に空調整備を実施しています。

市では、学校体育館への空調設備等の早期整備完了に向けて、令和9年度以降の学校体育館の空調整備の方針を固めましたのでお知らせします。

1. 学校体育館への空調整備の背景と現状

- (1) 国は、近年の猛暑により安全・安心な教育環境の充実に図るため、学校体育館でのエアコン空調整備について、令和15年度まで財政支援を拡充させている。
- (2) 国・県は、原子力災害での屋内退避施設として、UPZ圏内の自治体の学校体育館である避難所（各中学校区に1か所）には、上記の空調整備時に窓・壁等の気密化工事について財政支援を行っている。
- (3) 長寿命化改修工事を実施している名木野小においては、令和8年度に空調整備に着手している。

2. 学校体育館への空調整備に関する市の方針

- (1) 近年の猛暑に対応して安心安全な教育環境や避難施設を確保するため、できる限り早期に空調整備を完了する。
- (2) 工事期間の体育授業や活動等に利用する代替施設を確保する必要があることから、1年度に2か所程度を整備していく。
- (3) 原子力災害時の屋内退避施設として空調整備（気密化工事を含む。）を行う指定避難所は、各中学校区における避難所の立地バランス等を考慮して「名木野小、今町小、見附小、葛巻小」とし、同4校の整備を優先する。
- (4) 他の小・中学校への整備は、学校適正配置計画を踏まえつつ、可能な限り早期完了を目指す。

3. 空調整備計画（予定）

具体的な整備計画は以下のとおり。ただし、国の財政支援を前提としており、内閣府や文部科学省の予算措置や交付金採択の状況によっては、整備年度が遅れるなど変更が生じる場合がある。

(1) 屋内退避施設となる学校体育館

	工事年度	設計年度	交付金	施工	備考
名木野小	R 8	R 7	内閣府 ＋ 文科省	空 調 ＋ 気密化 ＋ 断熱化	長寿命化改良工事を実施中 工期：R 8. 6 月～R 9. 3 月
今町小 見附小	R 9	R 8			設計委託料を R 8. 9 月補正 予算案に計上
葛巻小	R 1 0	R 9			

(2) その他の学校体育館

(1) 以外で、学校適正配置計画上令和 1 6 年度以降も利用される見附中、西中、田井小、新潟小は、文科省の国交付金を活用した空調整備＋断熱化を令和 1 0 年度以降順次整備し、国の支援を前提として令和 1 1 年度までの整備完了を目指す。

4. 9 月市議会の補正予算案

令和 9 年度に工事着手に向けて、今町小及び見附小の設計委託料を手当てする補正予算案を 9 月市議会に提出予定。